

2005年12月6日

各位

経口プロスタグランジン E1 誘導体制剤リマプロスト アルファデクス
頸椎症に対する効能追加について共同開発・販売契約を締結

リマプロスト アルファデクス（一般名、以下リマプロスト）は両社の共同研究から生まれた経口プロスタグランジンE1 誘導体制剤で、1988年に「閉塞性血栓血管炎に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善」を効能・効果として承認され、また、2001年には「後天性の腰部脊柱管狭窄症に伴う自覚症状（下肢疼痛、下肢しびれ）および歩行能力の改善」の効能・効果が追加承認され、現在、両社それぞれ別銘柄（オパルモン[®]錠 5 μ g / 小野薬品工業株式会社、プロレナール[®]錠 5 μ g / 大日本住友製薬株式会社）で販売しております。

今般、両社はリマプロストについて、頸椎症に対する効能・効果の追加を目的として、共同開発・販売契約を締結しましたのでお知らせします。

頸椎症は、主に経年的な頸椎の形状変化（椎間板の変性、^{こつきよく}骨棘と呼ばれる骨の突出など）により、脊髓や神経根が圧迫され神経機能が障害される疾患で、その発症には圧迫された神経組織の血流低下が関与しているといわれており、四肢のしびれや痛みなどの症状が発現します。

リマプロストは、血管拡張作用と抗血小板作用を有する末梢循環障害改善剤で、頸椎症における神経組織の低下した血流を改善し、神経機能を正常化することで四肢のしびれや痛みを緩解する薬剤として開発出来るものと期待しております。

以上

小野薬品工業株式会社 広報室

TEL : 06-6263-5670

大日本住友製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6203-1407 (大阪)

03-5159-2505 (東京)